



インド・スリランカ・アフリカ SDGs研修コース

Japan-India-Sri Lanka-Africa Training Course toward SDGs



文化と生物多様性をユネスコ登録地域から学ぶ

ユネスコ登録地域（エコパーク（生物圏保存地域）、ジオパーク、世界遺産等）と保護地域をプラットフォームとして、生物多様性の保全と豊かな人間生活との調和、持続的発展について、日本およびインド・スリランカ・アフリカの学生たちと一緒に考えるプログラム。SDGs（Sustainable Development Goals）17の目標のうち、特に環境保全と関わりの深いゴール（8・12・13・14・15）を中心に取り組む内容となっています。

2022年7月11日（月）～7月19日（火）のうちの5日間（予定）

【主な研修内容】

- ・ ユネスコ登録地域（エコパーク（生物圏保存地域）、ジオパーク、世界遺産等）の理念と地元コミュニティと保護地域での取組を学ぶ
- ・ インド・スリランカ・アフリカの大学生、日本の大学生たちとオンラインで学生交流



詳細は裏面へ

インド・スリランカ・アフリカ SDGs研修コース ～文化と生物多様性をユネスコ登録地域から学ぶ～

本研修コースについて

ユネスコ登録地域（ユネスコエコパーク（生物圏保存地域；BR；Biosphere Reserve）、ジオパーク、世界遺産等）は、持続的発展を推進し、自然と文化遺産の保護や生物多様性及び地質資源の保護と持続可能な利用に力を入れています。地元コミュニティと保護地域での取組を通して、自然と人の調和と共生について、日本およびインド・スリランカ・アフリカの大学生と一緒に学び、ディスカッションします。

研修コース概要・費用

人数：50名程度（金沢大学15名、金沢大学以外のJU-MAB※の各大学から1-2名、インド・スリランカ・アフリカからの学生25名）

応募者多数の場合は、志望動機と英語のスコアで選考します

※ JU-MAB: 日本MAB計画連携大学間ネットワーク加盟大学（筑波大学、横浜国立大学、京都大学、愛媛大学、宮崎大学、金沢大学）

対象学生：

- ・ 金沢大学：全学域・全研究科対象 ・ JU-MABの学生
- ・ インド・スリランカ・アフリカの学生

参加費用：無料

使用言語：英語

スケジュール（予定）：ユネスコ登録地域に関する講座受講、学生交流

日付	活動内容(予定)
1日目 18:00-20:00(日本時間)	オリエンテーション講義、金沢大学紹介
2日目 18:00-20:00(日本時間)	日本事例+インドの事例
3日目 18:00-20:00(日本時間)	日本事例+スリランカ事例
4日目 18:00-20:00(日本時間)	日本事例+アフリカ事例
5日目 18:00-20:00(日本時間)	ラップアップ・ワークショップ、学生交流（オンライン）

本コース全体は、金沢大学国際機構ママードウア・アイダ准教授によるコーディネートの下実施されます。

単位

金沢大学生：GS科目 4D『異文化体験』1単位 もしくは 国際学類開講専門科目『異文化体験実習 I』1単位
※JU-MAB加盟大学及びインド・スリランカ・アフリカ地域の学生：受講後に修了書を発行

申込方法

オンライン参加申込フォーム：
<https://forms.gle/XDwvaDmtyTd1DqM87>

申込は
こちらから



申込期限

2022年5月20日（金）

お問合せ先： 金沢大学国際部留学企画課推進係

E-mail: studyabroad@adm.Kanazawa-u.ac.jp TEL: 076-264-6199